

9条改憲反対、豊洲移転中止、暮らし守れ 都民の願いをこぞって日本共産党に

中野区 志位委員長が訴え

東京都議選(6月23日告示)7月9日投票での日本共産党の勝利・躍進を必ずと、18日夜、東京都中野区で志位和夫委員長を迎えた演説会が開かれました。志位氏は「憲法9

条を守り抜く、豊洲移転を中止する。『逆立ち都政』をただして福祉と暮らしを良くする―

この願いをたくせるのは、浦野さとし候補しかいません。この選挙はどんな激戦でも負け

るわけにはいきません」と力を込めました。

中野選挙区は、定数1減の3議席を有力5人が争う大激戦となっています。志位氏らの訴えに、「なかのZ E R O大ホール」を占めた聴衆から「そうだ」「共産党がんばれー」の声がかかりました。

植木こうじ都議からバトンタッチする浦野候補は「命と暮らし、何よりも一人ひとりの生き方を大切にする都政へと力を尽くしたい」と決意表明。水谷陽子

弁護士、中野共立病院の山本英司院長が応援演説に立ちました。

志位氏は、自民・公明、維新が強行を狙う共謀罪法案を厳しく批判しました。獣医学部新設に安倍晋三首相の意向が強く働いていたとされる学校法人「加計学園」問題について、「首相の進退にか

奮闘し、「都政の闇」にメスを入れた実績を強調。自民、公明両党が尋問の打ち切りを決め、解明すべき「都政の闇」にふたをしたことを批判し、「日本共産党をさらに大きくして、『都政の闇』を一掃しましょう」と呼びかけました。

かわる大問題です」と強調。9条改憲、築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転、都民の福祉と暮らしという都議選の三つの大争点を示し、日本共産党の躍進を訴えました。

谷川智行衆院東京比例候補が決意表明。植木都議が「浦野候補へバトンタッチするため全力で頑張る」と語りました。

志位氏は、「調査、提案、論戦」という日本共産党議団の三つの役割と実績について丁寧に紹介しました。

車いすで参加した男性(57)は、「逆立ち都政をすすめてきた自公のひどさが分かった。作業療法士として、自ら医療にかかわってきた浦野さんなら、きっと福祉切り捨てにブレ

この中で、豊洲問題に関わる百条委員会

キをかけてくれる。友人にも支持を訴えた」と語りました。

2017 都議 選

6月23日告示 7月2日投票



声援に応える(左から)植木、浦野、志位、谷川の各氏=18日、東京都中野区